



宮城県仙台第一高等学校

令和六年度

学校案内

自重献身

自発能動

スーパーサイエンスハイスクール指定校

仙台一高の概要

校訓 自重献身

標語 自発能動

明治39年の開校記念日に当時の川田正激校長（第6代）の発案で「自重献身」の校訓が制定されました。「献身」とは自己犠牲を意味し、これこそ善の最大なるもので、これなしでは人格の形成は不可能であり、また「自重」とは「献身」と矛盾するものではなく、良心の命令に従って私利私欲を滅し、人格を完成させることがもっとも自己を尊重するもので、これこそが本来の自重というのです。この献身の精神は、人格完成の唯一の途であり、自己を最も尊重することになるというのです。

創立40周年の昭和7年、当時の小平高明校長（第9代）は標語「自発能動」を発表され、生徒の自主性を尊重し、これを涵養とすることを念願しました。小平校長の教育方針は、この「自発能動」のもと、常に教育の独自性と権威の確立を信条とされ、確固不動のものであったからこそ、時代の激動の中でも、生徒はひたすら本分に励むことができました。

今日でも校訓と標語は、一高生の生涯を通じて大きな支えとなっています。



川田正激校長（第6代）



小平高明校長（第9代）

教育目標

教育基本法並びに学校教育法に則り、人格の完成をめざし、社会に対する健全な批判力を養い、自主自立の精神に満ちた、心身ともに健康な国家及び社会の有為な形成者を育成する。

スクール・ミッション（社会的役割等）

県内初の尋常中学校として1892（明治25）年に創立した宮城県仙台第一高等学校は、校訓「自重献身（自重以テ己ヲ律シ 献身以テ公ニ奉ス）」、標語「自発能動 以亮天功」のもと、社会に対する健全な批判力を持ち、自主自立の精神に充ちた、心身ともに健康な、国家及び社会の有為な形成者となる生徒の育成を目指します。

スクール・ポリシー（3つの方針）

1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

自主自立の精神に充ちた、社会に貢献できるリーダーの資質として、特に次の1～4の力や態度を身に付けさせます。

- 1 深い知識・教養と柔軟な思考力、判断力、表現力
- 2 幅広い視野と問題発見力、問題解決力
- 3 社会に対する健全な批判力
- 4 他者理解を積極的に行い、受容しようとする態度

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

自主自立の精神に充ちた、社会に貢献できるリーダーの資質を身に付けさせるため、特に次の1～4に留意し、教育活動を行います。

- 1 生徒の自主的・自発的に活動する時間を尊重し、自ら成長しようとする力の育成
- 2 学習意欲を喚起し、幅広く深い知識・技能を習得させ、それを活用する場面を作ることで、主体的・対話的で深い学びの実現
- 3 学習活動、部活動、特別活動、校外活動等で、社会と主体的に関わる姿勢と、他者との協働性の育成
- 4 生徒のキャリア指向の多様化に対応する、個に応じた学びの充実

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

高校生活のあらゆる場面で自己の可能性を追求しながら、豊かな人間性を磨いていこうとする、次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 極めて優秀な学力を有し、学問の本質を探究する意欲にあふれた生徒
- 2 幅広い知識または優れた技能を有し、主体的な学習者として、継続的に日々努力できる生徒
- 3 課題の解決やその取組の発信に積極的で、よりよい社会の構築にむけて理想を実現しようとする高い志を有する生徒
- 4 部活動、特別活動、校外活動等で中心的な役割を担った生徒、または優れた能力や顕著な実績がある生徒

沿革

本校は、明治25年4月1日、宮城県尋常中学校として創立しました。初代校長は、国語辞典『大言海』の編集で知られる大槻文彦先生です。校舎は、最初は清水小路、次いで南六軒丁、そして明治41年に元茶畑に移り、現在に至っています。校名も、宮城県第一中学校、宮城県仙台第一中学校を経て昭和23年4月に宮城県仙台第一高等学校となりました。平成4年12月に現校舎の全面改築が終わり、翌年2月に、創立100周年・校舎落成記念式典が行われました。平成22年度から男女共学となりました。全日制の卒業生は33,000名以上に及んでいます。令和4年度には、創立130周年を迎えました。



創立130周年記念壁板（校舎1階に設置）



初代校長 大槻文彦

大槻校長は、生徒の人格を尊重し、その個性を伸長する教育を行い、吉野作造氏（政治学者）、真山青果氏（劇作家）をはじめ社会のリーダーとなる人物の育成と輩出に努めました。



大言海

大槻校長は政府の命を受け、我が国初の近代的国語辞典「言海」を編纂し、明治24年に発行しました。その後「大言海」として改訂されました。



旧講堂玄関

明治41年に建築された旧講堂の玄関が現校舎の北側に保存されています。（弓道場の一部として使用）

旧登米高等尋常小学校（重要文化財）の設計でも知られる宮城県技師 山添喜三郎氏によるものです。

卒業生の活躍

青木 存義	(明治25年)	作詞家	「どんぐりころころ」「牧場の朝」
真山 青果	(明治25年)	劇作家・小説家	「元禄忠臣蔵」
吉野 作造	(明治25年)	政治学者・思想家	大正デモクラシーの立役者
野副 鉄男	(大正4年)	化学者	ヒノキチオール発見
加藤陸奥雄	(大正13年)	昆虫学者	大学入試センター初代所長
角田 文衛	(大正15年)	考古学者	エジプト発掘、日本古代史
石田名香雄	(昭和10年)	医学者	センダイウイルス発見
二宮 康明	(昭和14年)	工学者	「よく飛び紙飛行機」
菅原 文太	(昭和24年)	俳優・声優	
井上ひさし	(昭和25年)	小説家・劇作家・放送作家	「青葉繁れる」 仙台文学館初代館長
樋口 陽一	(昭和25年)	憲法学者	「憲法入門」
清水 浩	(昭和28年)	工学者	電気自動車の研究
小濱 泰昭	(昭和37年)	工学者	「地球環境とエアロトレイン」
小池 光	(昭和38年)	歌人	仙台文学館二代館長
野家 啓一	(昭和39年)	哲学者	科学哲学
本川 達雄	(昭和39年)	生物学者	「ソウの時間ネスミの時間」
船山 信次	(昭和42年)	薬学者	「毒と薬の世界史」
榊原 光裕	(昭和47年)	ピアニスト・作曲家	
阿部 勉	(昭和48年)	松竹映画監督	「幸せ家族計画」
佐伯 一麦	(昭和50年)	小説家	「ア・ルース・ボーイ」 仙台文学館三代館長
岩井 俊二	(昭和53年)	映画監督・映像作家	「花は咲く」 作詞者
小久保英一郎	(昭和59年)	理論天文学者	
浅野 祥	(平成17年)	津軽三味線奏者	

()は入学年。「」は著書、作品または業績。敬称略。

校章



宮城野の萩に笹（竹）を配して仙台を象徴するとともに、萩のふくらみと竹の強さに柔と剛、すなわち質実剛健な中にも豊かな情操をふくんでいることを象徴している。（昭和23年4月15日制定）



井上ひさし氏とともに

仙台一高の学び

本校の教育課程

1学年では基本となる国数英を中心に、幅広くさまざまな科目について学びます。2学年から一部選択科目が入り、文系・理系に分かれます。3学年では将来の進路希望に対応できるよう、仙台一高独自の学校設定科目を含めた選択科目を多く取り入れています

令和7年度入学生教育課程表

単位数	1年	2年		3年	
		文系	理系	文系	理系
1	現代の国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語
2			古典探究		
3	言語文化	古典探究	みやぎ文学研究 α	古典探究	古典探究
4					
5		地理総合	みやぎ文学研究 β		※ 「地理探究」 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」
6	歴史総合	地理総合		みやぎ文学研究 β	
7	数学Ⅰ	※ 「日本史探究」 「世界史探究」	公共		※ 「地理探究」 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」
8				数学Ⅱ	
9	数学Ⅱ	公共	※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」		数学Ⅲ
10				数学Ⅱ	
11	数学Ⅱ	公共	※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」		数学Ⅲ
12				数学Ⅱ	
13	数学Ⅱ	公共	※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」		数学Ⅲ
14				化学基礎	
15	生物基礎	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		数学Ⅲ
16				数学Ⅱ	
17	数学Ⅱ	化学	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		数学Ⅲ
18				数学Ⅱ	
19	体育	※ 「物理基礎」 「地学基礎」	※ 「物理」 「生物」 「地学」		数学Ⅲ
20				体育	
21	保健	体育	※ 「物理」 「生物」 「地学」		数学Ⅲ
22				※ 「音楽Ⅰ」 「美術Ⅰ」	
23	※ 「音楽Ⅰ」 「美術Ⅰ」	保健	※ 「物理」 「生物」 「地学」		数学Ⅲ
24				英語コミュニケーションⅠ	
25	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ		体育
26				英語コミュニケーションⅠ	
27	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ		体育
28				論理・表現Ⅰ	
29	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅱ		英語コミュニケーションⅢ
30				家庭基礎	
31	家庭基礎	情報Ⅰ	情報Ⅰ		英語コミュニケーションⅢ
32				学術研究Ⅰ	
33	学術研究Ⅰ	学術研究Ⅱ	学術研究Ⅱ		論理・表現Ⅲ
34				学術研究Ⅰ	
35	学術研究Ⅰ	学術研究Ⅱ	学術研究Ⅱ		※学術研究Ⅲ
36				LHR	
37	LHR	LHR	LHR		LHR
※ SS 特別講座					
※ SS 探究講座					
※ SS 国際交流					

※は選択科目です。 2、3年生の科目は現時点でのものです。

授業形態

学習指導においても自発的学習を重視するという観点から、各教科が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組をしています。SSHの学校設定科目「学術研究」で培った探究活動が通常の科目に、通常の科目で身に付いた能力が「学術研究」に、といったようにお互いに補い合って理解を深めています。



授業時程 (55分授業) ・ 土曜授業

55分×6コマの授業を実施しています。

(『学術研究』の授業が7校時に実施される日があります)

55分授業の利点としては次のことが挙げられます。

- ①55分授業に比べて、5分の余裕があり、腰をすえた授業ができます。
- ②放課後の生徒の自主的な活動時間を保証しています。
授業終了時刻が曜日によって変わらないため、生活のリズムがつくりやすく、生徒会活動や部活動などの課外活動、課外講習の時間も十分に確保しています。
- ③1週間で55分×30コマ授業を行うことで、50分換算で33コマ分の授業を行うことができます。

また、本校は伝統的な学校行事も多く設定されています。年間5回程度の土曜授業(午前中、3コマ)を行うことで、授業時間数の確保にも努めています。

『一高のてびき』・ 『学年のてびき』等

入学するとすぐに『一高のてびき』を用いて、仙合一高における「生活」や「学び方」についてオリエンテーションが行われます。

また学年ごとに年4回発行する『学年のてびき』は、学習を進める上で必要なことや、その時々々の学年の話題となっていることを取り上げています。生徒たちが自主的に執筆する「有志投稿」のページもあります。

その他、『SYLLABUS(シラバス)』(全教科・全科目の年間学習計画の一覧表とともに、学習方法や評価方法を掲載)や『進路資料』(大学入試に向けての各種データや合格体験記等を掲載)を作成、活用しています。



通常授業時程

7:00	校舎解錠(平日)
8:30～	S H R
8:40～ 9:35	1校時
9:45～ 10:40	2校時
10:50～ 11:45	3校時
11:55～ 12:50	4校時
12:50～ 13:40	昼休み
13:40～ 14:35	5校時
14:45～ 15:40	6校時
(15:50～ 16:45	7校時)
清掃・放課・部活動等	
19:00(平日) 17:00(土日祝)	生徒完全下校



土日祝を含め、ほぼ毎日、早朝、昼休み、放課後、部活動の前後など、多くの生徒が学習に取り組んでいます。



県内高校随一の蔵書数を誇ります。新着図書展示やテーマ展示も随時行っています。探究活動の際などに多くの生徒が利用しています。

一高のてびき(掲載項目抜粋)

- ・卒業生から新入生へのメッセージ
- ・一高の学習について
各教科の学習法の詳細
ノートのとり方(実物コピー)
- ・成績評価、進級、卒業認定
- ・進路目標の達成に向けて
- ・充実した生活を送れるよう支援する
- ・学術研究の具体的な進め方 他

学年のてびき(掲載項目抜粋)

- ・考査、模試成績概況、成績総括
出題のねらい、復習方法
- ・長期休業中の過ごし方
- ・定期アンケート集計結果
- ・課外講習実施要項
- ・進路希望調査結果一覧
- ・学術研究Ⅰ 課題研究テーマ一覧
- ・有志投稿 他

仙台一高の一年



入学式

一高生としての自覚をもって新たな生活がスタートします。厳かな雰囲気の中で生演奏での校歌披露も行われます。



対面式

応援団・生徒会が企画・運営する新入生歓迎行事。昨年度から久しぶりに体育館で開催されるようになり、ストームも行われました。



校内競技大会

各HRの実行委員によって企画・運営されています。球技中心に行われ、各学年HR単位で種目別優勝・総合優勝をめざします。



一高祭

発起人による実行委員会によって企画・運営されます。ウオーターボーイズ&ガールズは一高祭の大きな目玉になっています。



運動祭

発起人と各HRから選出された実行委員によって企画・運営される体育の行事。同窓会寄贈の大優勝カップをめぐって縦割りHRで熱戦が繰り広げられます。各縦割りHRの3年生代表が大将を務め、大将を中心に一高生が団結しています。それぞれのHRの衣装も工夫が凝らされています。



一高祭

一高祭は多種多様な企画で盛り上がっています。令和5年度は、久しぶりに制限なしの一般公開を行いました。のべ1万人を超えるお客様に一高生のパワフルな姿を披露しました。

第1学期

(4月1日～9月30日)

4月

入学式
始業式・新任式
対面式
オリエンテーション
運動祭

5月

PTA総会
アピール行進
生徒総会
一高・二高硬式野球定期戦
一高・二高軟式野球定期戦
一高・二高三部定期戦

6月

高校総体
第1期考査

7月

校内競技大会
夏期課外
学校説明会
合同巡検(1学年)
校外研修(2学年)

8月

夏期課外
一高祭

9月

第2期考査



生徒総会

総会議長が召集し、昼休みに開催されます。行事や予算案などについて、熱のこもった議論が交わされます。



アピール行進

長年の伝統を誇る硬式野球定期戦。定期戦アピール行進では、応援団長を先頭に、応援団と有志の調停委員が全体をリードして、一番町を練り歩き、定期戦をアピールします。ゴール地点の西公園では、宿敵二高とのエール交換も行われました。令和6年度の定期戦は、5月11日に開催され、見事一高が勝利、4連覇を成し遂げました。夕方には学校に戻り、張りぼてを燃やしながら、ファイヤーストームを行い、勝利の余韻に浸りました。なお、硬式野球以外にも多くの部が定期戦を行っています。



硬式野球定期戦



ファイヤーストーム

仙台一高の施設



体育館



第2グラウンド (若林区荒井)



正門



自転車置場



桜並木



プール



弓道場



食堂



トレーニングルーム



テニスコート



エレベーター



地下書庫



石彫モニュメント
"COSMOS"「宇宙」
片桐 宏典
(高29回生・PACT PROJECT) 作



強歩大会

早朝に学校を一齐にスタートし、各自のペースで約35km先の秋保温泉をめざします。各HRから選出された実行委員によって運営されます。完走・完歩した後の充実感は格別です。



卒業式

一高で過ごした日々を振り返りながら、新たな旅立ちを誓う日です。全員で歌う校歌や応援歌は、体育館全体に響きわたり、感動的です。本校同窓生による卒業記念講演も行われます。



東北大学 学部学科説明会

秋季から冬季にかけて、大学の先生をお招きした各種講演会が数多く開催され、多種多様な学びの機会が提供されます。



SSH学術研究発表会

学術研究IIの各ゼミ代表がこれまでの研究成果を発表します。特筆すべき発表には、SSH運営委員の大学の先生方から特別賞が授与されます。

発起人制度とは？

仙台一高には発起人制度があります。「これを実施したい」という気持ちを持った生徒が発起人となって、生徒総会の承認を受けて各種行事などの企画や運営を自らの手で行っています。一高祭実行委員会や生徒会誌「創造」編集委員会などがその代表的なものです。こういった活動の中でも一高生のリーダーとしての資質が磨かれていきます。生徒の自主性と積極性を重んじる発起人制度は校訓「自重献身」、標語「自発能動」を具体化した活動であり、本校の象徴ともなっています。

第2学期

(10月1日～3月31日)

第2学期始業式

強歩大会
生徒総会
芸術鑑賞会

第3期考査

共通テスト

学年末考査

卒業式
終業式
離任式

10月

11月

12月

1月

2月

3月



芸術鑑賞会

演劇・音楽・古典芸能の3つの分野を3年間で鑑賞します。本物の芸術に直接触れることができる機会です。写真は令和5年度に実施した古典芸能の鑑賞で、生徒と共演する場面もありました。

一高は社会

生徒は自覚と責任をもって行動し、学校は生徒を1人の人格として尊重します。

一高は学びの場

生徒は学ぶものとしての謙虚さをもち、学校は生徒に多様な学ぶ機会を提供します。

一高の楽しさ

楽しさは与えられるものではなく、生徒自身が参画し、実行することで得られるものです。学校はそれを見守ります。



同窓会館



卓球場



多目的教室



視聴覚室



食物実習室



和室



剣道場



実験室



音楽室



家庭総合実習室



柔道場



部室棟



講義室



美術室



山小屋(蔵王町遠刈田温泉)

仙台一高の部活動

令和5年度の主な部活動戦績

運動部

- 〈弓道〉 総体 男子団体 3位 男子個人 1位 東北大会・インターハイ出場
新人 男子団体 4位 男子個人 東北選抜2位 全国選抜出場 国体選抜選手
- 〈剣道〉 総体 男子団体 1位 東北大会・インターハイ出場
男子個人 2位 東北大会・インターハイ出場 国体選手選抜 東北総体少年3位
新人 男子団体 2位 東北選抜・全国選抜出場
- 〈硬式庭球〉 総体 男子団体 ベスト8 女子団体ベスト8
- 〈硬式野球〉 春季県大会 3位 東北大会出場
秋季県大会 3位 東北大会出場 選抜東北地区代表校選出
- 〈サッカー〉 新人 ベスト8
- 〈山岳〉 新人 団体男子2位
- 〈柔道〉 総体 男子90kg級 3位 東北大会出場
- 〈水泳〉 総体 男子50m自由形 東北大会4位・8位
男子100m背泳ぎ 東北大会6位 男子200m背泳ぎ 東北大会5位
他東北大会6種目出場
新人 男子 50m自由形 東北大会4位・7位
他東北大会7種目出場
- 〈卓球〉 新人 男子団体 ベスト8
- 〈軟式庭球〉 総体 女子団体 ベスト8
- 〈軟式野球〉 秋季大会 2位 東北大会 3位
- 〈バスケットボール〉 総体 女子 3位
- 〈ハンドボール〉 新人 男子 ベスト8
- 〈フェンシング〉 総体 男子団体 3位
女子個人サーブル 1位 東北大会3位 インターハイベスト16
2位 東北大会出場 インターハイ出場
他3種目東北大会出場
新人 女子団体フルーレ 3位 全国選抜ベスト16
- 〈陸上〉 総体 男子200m 東北大会1位 インターハイ8位



運動部 (23)

★は男子のみ

★硬式野球	★サッカー
★ハンドボール	弓道
剣道	硬式庭球
山岳	柔道
水泳	ソフトボール
卓球	軟式庭球
軟式野球	バスケットボール
バドミントン	バレーボール
フェンシング	ラグビー
陸上競技	ヨット
少林寺拳法	フットサル
応援団	

学芸部 (21)

映画	演劇
合唱	軽音楽
化学	クイズ研究
語学	室内楽
写真	出版
吹奏楽	生物
地学	電腦研究
美術	物理
文芸	放送
鉄道研究	書道
囲碁・将棋	

女子400mH 東北大会1位 インターハイ2位
 男子4×100mR 東北大会4位
 女子4×100mR 東北大会5位 女子4×400mR 東北大会3位
 男子100m 東北大会2位 女子やり投 東北大会4位 以上インターハイ出場
 他5種目東北大会出場
 新人 男子800m 東北大会7位 女子100mH 東北大会6位
 女子走幅跳 東北大会7位
 他4種目東北大会出場

〈ヨ ッ ト〉 総体 女子レーザーラジアル級 1位 東北大会2位 インターハイ出場
 新人 女子レーザーラジアル級 1位 鹿児島特別国体出場

〈少林寺拳法〉 総体 男子総合2位 男子団体 2位 東北大会出場 女子総合2位
 男子組演武 5位・6位 東北大会出場
 新人 男子総合 2位 女子総合 2位
 男子自由組演武の部 2位 男子規定単独演武の部 2位
 女子規定単独演武の部 1位 以上全国選抜大会出場



学芸部

〈囲碁将棋〉 (将棋) 全国総文祭将棋大会宮城県予選大会

男子個人A級 2位 全国大会出場
 女子個人 3位

高校将棋竜王戦宮城県予選会 1位 全国大会出場
 宮城県将棋新人大会 1位 全国新人大会出場

(囲碁) 全国高等学校囲碁選手権大会 宮城県大会 男子団体 2位 全国大会出場

〈放送〉 NHK杯全国高校放送コンテスト宮城県大会 創作ラジオドラマ部門 優良賞(4位)
 宮城県高等学校放送コンテスト新人大会 アナウンス部門 優良賞
 テレビキャンペーン部門 優良賞
 ラジオキャンペーン部門 優秀賞 以上東北大会出場

〈物理〉 宮城県高等学校生徒理科研究発表会 物理分野 部長賞
 ロボットアイデア甲子園東北大会 リコーイングダストリー賞
 全国高等学校総合文化祭参加

〈クイズ研究〉 AQL2023東北リーグジュニアの部 1位 全国大会出場

〈鉄道研究〉 全国高等学校鉄道模型コンテスト ベストクリエイティブ賞

※県大会上位入賞以上のみ掲載



仙台一高の進路支援

個々の生徒が自己実現の道を拓き得るよう援助します。生徒の皆さんには、10年後、さらなる将来を見通した高い志を持ち、「入れる大学より入りたい大学」への進学を追求する姿勢を無くさないでほしいと考えています。

学習面のサポート 学習習慣の確立 → 学習法の確立 → 大学入試対策

早期に学習習慣を身につけ、家庭学習の時間を十分に確保した上で、学習の方法やスタイルを確立し、積極的に授業に臨む姿勢を育て、基礎学力を養います。また、大学入試に向けた学習計画を立て、入試に堪えるだけの確かな学力を身に付けていきます。

- 1、2学年 夏期課外（7月：1学年5日間、2学年6日間）、
冬期課外（12月：4日間）
- 3学年 夏期課外（7～8月：16日間）
冬期課外 / 直前演習（12月：4日間）
放課後課外（4～12月：週4日 20週分）
推薦・面接等指導、小論文指導
各教科添削指導



課外は全て希望者制で自ら必要な科目を選んで受講します。1、2学年は国数英、3学年は理社も加わります。3学年の各種指導は、担当教員の割当てと自らの申し出によります。

生き方のサポート 自己理解・職業 → 具体的な将来像 → 進路決定

自己理解や職業観を深め、将来実現すべき自身のあり方や生き方を探求し、将来像をより具体的な形に作り上げていき、進路志望を揺るぎないものにします。進路指導部以外でも多くの講演会などが企画されています。

- 全学年 進路オリエンテーション（4月）
進路講演会（2～3回）、東大京大プロジェクト
- 1、2学年 スタディサポート（新1学年予備登校時）
進路希望調査（6、11月）、東北大学学部学科説明会
OBOG講演会、学問・学部学科研究（LHR）
オープンキャンパス参加（1学年は必須）
- 3学年 進路希望調査（4、8月）
東北大学 学部学科説明会（希望者）



東大京大プロジェクトは希望者を募り、ともに難関大学合格を目指します。東北大学学部学科説明会は、東北大学の先生方を招いて、大学や学問について直接説明をいただけます。毎年様々な学部学科で10講座以上が開設されます。OBOG講演会（写真）は、東大・京大・東北大在籍のOBOGを招いてお話をいただけます。他にも社会人講話（進路講演会）なども行っています。

大学進学へのサポート 自己理解・職業 → 学部学科 → 大学

興味ある学問について自ら調査・研究する姿勢を育て、具体的な進学の道を拓くとともに、大学入試の実際を理解し、主体的な進路選択ができるようにします。その上で早期に志望校を決定し、実際の受験に対応するための資料や知識を自ら収集していきます。

- 全学年 進路資料 / 合格体験記、SHINRO NEWS
進路室資料、自習室資料
- 1、2学年 校内実力考査（4、8、1月）
模擬試験（全員対象4回：7、11、1、3月）
- 3学年 校内実力考査（4月）、校内模試（8、11月）
模擬試験（全員対象7回：6～12月各1回）
模擬試験（希望者）
※校内実力考査・校内模試は本校オリジナルの問題となります。



進路室の隣の会議室の書架には過去4年分の大学入試対策問題集や模試等があり、生徒も利用することができます（写真）。自習室はほぼ毎日開いており、ここにも自由に利用できる問題集などが置いてあります（4ページ参照）。希望者模試は、全員対象の模試に加えて、東大模試等必要な模試を選んで受験します。

保護者へのサポート

保護者の皆様に対しても進学講演会、保護者版「合格体験記」の配付など、最新の情報を共有するとともに連携を深めていきます。

最近4年間の主要大学合格状況

○ 難関10大学合格状況

()内は現役合格者数

大学名	R6年度入試	R5年度入試	R4年度入試	R3年度入試
北海道	3(3)	7(4)	6(4)	7(4)
東北	65(43)	75(54)	67(48)	71(45)
東京	3(2)	2()	4(2)	1(1)
一橋	()	1(1)	2(1)	1()
東京工業	()	2(2)	()	1(1)
名古屋	2(2)	()	1(1)	2(1)
京都	2()	5(4)	1(1)	3(1)
大阪	1()	7(5)	6(4)	4(2)
神戸	1(1)	1(1)	3(1)	1(1)
九州	()	()	2(1)	()
難関10大計	77(51)	100(71)	92(63)	91(56)

○ 医学部医学科合格状況

大学名	R6年度入試	R5年度入試	R4年度入試	R3年度入試	
弘前	()	1()	3(2)	()	
東北	1()	2(1)	2(1)	1()	
秋田	1(1)	1(1)	1(1)	1()	
山形	()	()	()	3(1)	
新潟	()	1()	()	()	
富山	1(1)	()	()	()	
福島県医	1()	3(1)	1(1)	1(1)	
岩手医科	1()	3()	1()	()	
東北医薬	2()	3()	5(4)	5(1)	
獨協医科	()	1()	1()	()	
杏林	1()	()	()	()	
帝京	1()	()	()	()	
東京女医	1()	()	()	()	
東邦	()	1()	1()	()	
藤田医科	()	()	1()	()	
他	防衛医科	()	()	2()	()
国公立計	4(2)	11(3)	10(5)	6(2)	
私立計	6()	5()	8(4)	5(1)	
医学科計	10(2)	16(3)	18(9)	11(3)	

○ 私立大学・その他

大学名	R6年度入試	R5年度入試	R4年度入試	R3年度入試
岩手医科	1()	3()	5(4)	()
東北学院	83(74)	68(58)	70(48)	41(29)
東北医薬	22(20)	14(9)	20(17)	32(24)
青山学院	2(2)	12(11)	7(5)	5(4)
学習院	()	1(1)	4(4)	()
慶応義塾	8(1)	4(4)	8(2)	10(6)
上智	2(1)	6(2)	3(2)	9(6)
中央	34(20)	47(23)	40(18)	57(20)
東京理科	20(6)	38(9)	27(16)	33(15)
津田塾	()	3(1)	5(3)	2()
日本	9(6)	11(1)	30(16)	21(12)
法政	39(17)	60(27)	44(25)	24(10)
明治	36(14)	44(21)	41(17)	47(18)
立教	6(1)	15(8)	10(10)	5(4)
早稲田	6(5)	22(12)	18(10)	21(9)
同志社	2()	6()	9(1)	4(1)
立命館	4(1)	15(3)	16(6)	14(3)
その他	121(82)	168(92)	205(120)	151(75)
私立大計	395(250)	537(282)	562(324)	476(236)
防衛	()	1(1)	2(1)	()
防衛医科	()	1(1)	2()	()
その他	()	()	()	1()
大学校計	()	2(2)	4(1)	1()

○ 国公立大学合格状況

大学名	R6年度入試	R5年度入試	R4年度入試	R3年度入試
北海道	3(3)	7(4)	6(4)	7(4)
弘前	2(1)	3(1)	6(5)	1(1)
岩手	12(11)	10(9)	6(4)	7(6)
東北	65(43)	75(54)	67(48)	71(45)
文	7(6)	4(3)	9(9)	2(2)
法	5(3)	6(4)	5(2)	8(5)
経済	12(8)	9(8)	12(9)	10(7)
教育	3(2)	2(1)	3(2)	2(1)
理数学	1(1)	1()	()	1()
理物理	1(1)	4(3)	1(1)	()
理化学	1(1)	1(1)	()	3(1)
理生物	()	1(1)	()	()
理地科	()	()	()	1()
工機知	3(2)	7(4)	6(4)	3(1)
工電情	6(3)	3(3)	7(4)	12(8)
工化八	1()	4(3)	3(3)	4(3)
工材料	2(2)	5(4)	1(1)	2(1)
工建築	2()	6(3)	3(2)	4(3)
医医	1()	2(1)	2(1)	1()
医保	12(8)	5(5)	8(5)	10(10)
歯	1(1)	2(1)	2(1)	()
薬	1(1)	8(5)	3(2)	3(1)
農	6(4)	5(4)	2(2)	5(2)
宮城教育	9(9)	12(11)	16(13)	13(12)
秋田	7(4)	1(1)	1(1)	4(1)
山形	38(34)	15(12)	35(29)	40(31)
福島	4(3)	4(3)	6(5)	4(4)
茨城	5(3)	1(1)	3(3)	2(1)
筑波	3(1)	4(2)	4(4)	2(2)
宇都宮	3(3)	5(3)	3(3)	5(3)
埼玉	3(2)	11(11)	10(3)	9(6)
千葉	12(8)	12(5)	8(7)	9(6)
東京	3(2)	2()	4(2)	1(1)
一橋	()	1(1)	2(1)	1()
東京外語	()	1(1)	1()	1(1)
東京学芸	4(4)	3(3)	3(3)	2(1)
東京芸術	1(1)	()	()	1(1)
東京工業	()	2(2)	()	1(1)
お茶の水女子	()	()	()	1()
東京農工	3(1)	2(1)	2(1)	1()
東京海洋	1()	1(1)	1()	()
電気通信	1()	2()	1(1)	2()
横浜国立	2()	4(2)	3(2)	7(5)
新潟	5(2)	15(8)	8(3)	5(4)
金沢	()	2(2)	1()	1(1)
名古屋	2(2)	()	1(1)	2(1)
京都	2()	5(4)	1(1)	3(1)
大阪	1()	7(5)	6(4)	4(2)
神戸	1(1)	1(1)	3(1)	1(1)
九州	()	()	2(1)	()
その他	8(6)	12(6)	13(4)	4(2)
国際教養	1(1)	2(2)	3(1)	()
宮城	11(9)	4(3)	7(7)	10(8)
福島県医	5(4)	3(1)	1(1)	3(2)
高崎経済	7(4)	5(2)	3(2)	2(1)
東京都立	1()	7(6)	5(4)	2(2)
都留文科	()	1()	()	3(2)
横浜国立	()	1(1)	()	2(1)
その他	9(8)	9(8)	6(5)	5(4)
国公立大計	234(170)	252(177)	248(174)	239(164)

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)とは、先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的な探究能力等を培うことで、将来、国際的に活躍し得る科学技術人材等を育成するための取組として、文部科学省が全国200校程度の学校を指定して行っている事業のことです。

仙台一高は平成24年度からの第Ⅰ期、第Ⅱ期の10年に引き続き、令和4年度から第Ⅲ期5年間の指定を受けました。全生徒を対象に、校訓「自重献身」、標語「自発能動」を国際社会で具現化しうる人材を輩出することを目指し、学校設定教科「学術研究」における課題研究を中心とする、さまざまな取組を行っています。

一高の探究活動

学問とは本来、問題や正解が用意されているものではありません。身近な事柄にも研究の種があり、研究を深める余地があります。知的好奇心にみちびかれて、自分で問題を見つけ、それを追究していくことが学問のあり方です。このような学びを探究活動といいますが、一高では「共通教科・科目」と学校設定教科「学術研究」とが、連携を図りながら探究活動を行います。

「共通教科・科目」と「学術研究」の両輪で学問の楽しさ・醍醐味を味わうことができるのが「一高の探究活動」です。



ポスター発表会

みんなで楽しむ探究活動 (共通：全員)

科目	内容	時期	学習項目	学習活動	イベント
学術研究Ⅰ (1年 2単位)	年度の前半に行われるプレ課題研究を通して、研究の手法や、ポスター・レポート作成の基本を学びます。 10月以降は、各自の興味・関心や進路希望に応じて14のゼミに分かれて所属し、活動していきます。各ゼミでは、各自が興味・関心のある研究テーマをグループで設定し、2年生の助言を受けたり、ゼミ内で発表会を行ったりしながら研究を進めます。	1期	ガイダンス	学術研究・課題研究を知る	オリエンテーション 学術研究入門 課題研究講演会
		2期	プレ課題研究	身近なテーマで課題研究の一連の活動を学ぶ	(研究を始める) プレ課題研究ポスター発表会
		3期	課題研究	ゼミ決定 班編制	課題研究説明会
		4期		テーマ設定	先端科学技術講演会 テーマ設定発表会
学術研究Ⅱ (2年 2単位)	1年次から始まった各ゼミでの研究をさらに進めます。また、それぞれの研究テーマに関連する研究所や大学の研究室、企業などを訪問し、そこで得た助言を踏まえて、研究を練り上げていくことができます。 10月から12月にかけては、研究の仕上げとしてポスター発表や口頭発表を行い、論文を完成させます。	1期	課題研究	研究活動	中間発表会
		2期		まとめ・発表	課題研究講演会 (研究のまとめ) ポスター発表 口頭発表会
		3期		継続研究活動 1年生へ課題 研究の指導	先端科学技術講演会 研究論文作成 SSH学術研究発表会 (ゼミ代表)
		4期			

高みに挑戦する探究活動 (キャリア志向に応じて：希望者)

学術研究Ⅲ (3年：1単位)	★自分の研究を校外の様々なところで発表したい人にオススメ！ 2年次までの研究活動を継続して大学での研究につなげたいと考える生徒が選択し、研究を深め、総合的な課題解決能力を身に付けることができます。
SS探究講座 (2年：1単位)	★各種科学系オリンピックや科学の甲子園に参加したい人にオススメ！ 科学技術系コンテストへ挑戦したいと考える生徒が選択し、講演会や講義、実習などに取り組み、高度な課題解決能力を身に付けることができます。
SS国際交流 (2年：1単位)	★将来、国際的に活躍したい人にオススメ！ 国際交流を実践したいと考える生徒が選択し、英語での講義や実習、発表会、そして海外研修などに取り組み、学びを世界に生かす力を身に付けることができます。
SS特別講座 (1～3年：1単位)	★新たな価値の創造に挑戦したい人にオススメ！ 知見を広げたいと考える生徒が選択し、自然科学や社会科学、人文科学など様々な分野の講義を受講し、課題発見能力を身に付けることができます。

特別授業（令和5年度開催分）

本校では大学の先生方を直接お招きして、学部学科説明会・模擬講義・各種講演会を多数開催しています。学部選択、大学で学ぶ意義、大学卒業後の進路を考える貴重な機会になっています。

東北大学 学部学科説明会

- 「法と政治を原理的に考えよう」 法学部教授 鹿子生浩輝
- 「交通工学と交通計画」 工学部教授 井料 隆雅
- 「画像処理のしくみから最先端まで」
工学部准教授 伊藤 康一
- 「文学部の可能性」 文学部准教授 茂木謙之介
- 「生物が作る化学物質の不思議と魅力」
農学部准教授 榎本 賢
- 「ChatGPT などの対話型生成 AI で学びはどう変わるのか？」
教育学部准教授 中島 平
- 「物理現象と数学研究」 理学部准教授 岩渕 司
- 「材料化学の世界」 理学部教授 福村 知昭
- 「小さい機械ができること～機械・電気・光～」
工学部准教授 猪股 直生
- 「薬学：創薬と未来医療への貢献」 薬学部教授 平澤 典保
- 「Keep you going!」 医学部教授 齋木 佳克
- 「地域経済（学）と地域計画」 経済学部教授 増田 聡

先端科学技術講演会

- 「これから研究を始める仙台一高生のために」（1学年）
「これから研究発表をする仙台一高生のために」（2学年）
東北大学大学院生命科学研究所 准教授 酒井 聡樹
- 「君たちが世界の主役となる舞台です！」
Nano Terasu（ナノテラス）
東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター
教授 高田 昌樹

卒業記念講演

- 「事実に迫る目」-私の記者体験と公共メディア-
日本放送協会メディア総局特別主幹 正籬 聡（高31回）

奨学金

奨学金制度とは、一般的に奨学金の貸与や給付を受けないと修学が困難であること、一定以上の学力を有していること、奨学生に相応しい人物であるかどうかを審査され、奨学生として採用されるものです。基準は事業主によって異なります。本校には財団法人があり、独自の奨学金制度を持っています。本校で実績のある主な奨学金は下記のとおりです。

名称	月額	種別
宮城県仙台一高奨学会	10,000円	給付
亀井記念財団	10,000円	給付
高等学校育英奨学資金	18,000円～23,000円	貸与
庄慶会	23,000円	貸与
多田脩學育英會	20,000円	給付
あしなが育英会	30,000円	給付

給付：返還義務のないもの。 貸与：返還義務のあるもの。
制度の改正等により、内容が変更になる場合があります。

仙台一高 Q & A

Q₁ 年間どれくらいお金がかかりますか？

- A₁** ※令和6年度1年生の場合
- 入学金 5,650円
 - 教科書 約10,000円（選択科目によって変わります）
 - 服装 制服はありません。質素端正なものを身につけましょう。
上履きはありません。靴のまま校舎に出入りできます。
体育館は専用シューズが必要です。
 - 体育用品 長袖体育着上下・体育館シューズ等
約18,000円
（男女で若干金額が変わります）
 - 学校徴収金 23,900円（生徒会費、父母教師会費）
 - 学年費・外部模試受験料等 41,921円
 - 補助教材費 約25,000円
 - 授業料 118,800円
（就学支援金が認定された場合は負担なし）

Q₂ 修学旅行はありますか？

- A₂** 修学旅行は実施しておりませんが、1年次に合同巡検（1泊2日宮城県内）、2年次に校外研修（1泊2日東京方面）があります。合同巡検は、理科・社会分野を中心テーマとし、自然や社会の様子に直接触れ合うことを目的に、校外研修は、大学・官公庁・研究機関・民間企業等の訪問をとおして、課題解決の姿勢を育むことを目的に実施されます。



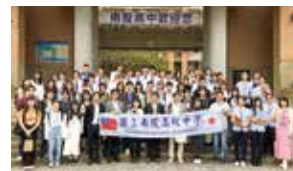
合同巡検（令和5年度）



校外研修（令和5年度）

Q₃ 海外研修はありますか？

- A₃** 2年次に「SS 国際交流」選択者を対象に、台湾研修を行っています。事前学習を行った上で渡航し、現地では台湾の高校との交流・英語での研究発表・台湾の大学や研究施設の訪問などを行う充実したプログラムになっています。



海外研修（令和5年度/台湾）

Q₄ 食堂について教えてください

- A₄** 営業時間は平日 11時30分から 13時30分です。日替ランチのほか、カレー、そば、うどん、ラーメンなどがあります。テイクアウトのおにぎり、パン、焼きそば、飲料等も販売しています。長期休業中、考査期間中、午前授業の日は休業です。

在校生・卒業生からのメッセージ

「原体験」

前期生徒総会議長 三宅 真羽（77回生） 仙台市立中田中学校出身

私にとって、仙台一高での3年間はかけがえのない3年間です。それは、一高が自分独自の経験ができる学校であり、特別な学びを得られるからこそだと思います。例えば、仙台一高の特色である学校行事。一高では行事の大半が実行委員会によって運営されます。運営には、多くの責任を伴い、苦勞がつきものです。しかし、その苦勞の分だけ生きた経験が身に付きます。また実行委員だけではありません。実行委員会の準備に対し、生徒は全力で参加することで応え、全ての行事が思い出の経験になるのです。私はこの発起人制度に興味を持ち、委員会の発起を支える議長団で3年間活動を行いました。私自身苦勞を感じる場面も多かったのですが、準備に向き合う姿や行事を楽しむ生徒の姿を見ると、活動に関わることができてよかったと実感します。「原体験」それはこれからの自分に大きな影響を与える経験とされています。一高での経験は深い感動と学びが得られる、まさに原体験です。そして、行事に限らず、挑戦の機会が多い一高では、必ず自分独自の経験が見つかるはず。様々な分岐点での選択や向き合い方、抱いた思い。自分が積み上げた3年間は、自分だけの強みになります。「やっぱり一高。」この言葉の前にはどんな自分独自の言葉が付くのか。答えは皆さんの手で見つけてほしいと思います。

「1度きりの高校生活」

第八十九代応援団団長 鈴木 貫太（77回生） 仙台市立第二中学校出身



一高には応援団という組織がある。一高の生徒約960人は応援団員であり、その中心に立ち、一高を盛り上げ、引っ張っていく存在が応援団幹部である。私は1年次に幹部になり、2・3年の2年間、団長を務めさせてもらった。団長生活はかなり忙しかったが、同時にやりがいもあり、充実していた。中でも例年5月に行われる「硬式野球定期戦」は格別であった。楽天モバイルパーク宮城での試合では、両校が応援合戦を繰り広げる。私は団長として一高生を鼓舞した。そして我々は、約20年ぶりの4連覇を果たすことができた。勝利の瞬間、ここまで幹部を続けてよかったと思えた。仙台一高には中学生諸君らが熱中できる何か必ずある。一高に入学し、充実した3年間を過ごしてみてもどうだろうか。

東京大学 文科Ⅲ類

齋 未玲（76回生） 吹奏楽部 仙台市立郡山中学校出身

一高で志高い人に囲まれ刺激を受けた私は、高校3年間、様々なことに挑戦し続けました。部活動では、ソロコンテストに出場し東北大会に進み、部長も務めました。また学習面では、部活動と両立して高い目標に向けて努力する友人に感化され、東大受験に挑戦し、最終的に現役合格を掴むことができました。その他にも、有志演説の場で全校生徒を前に喋ったり、市議会議員との討論会に参加したり、学術研究で県外の発表会に参加したりしました。一高に入る以前、臆病で失敗を恐れていた私が多くの挑戦に臨むことができたのは、優秀で確固たる目標を持つ人が集まり、挑戦する人を後押しする環境、友人と切磋琢磨できる環境を備える一高のおかげだと思います。挑戦の中での数々の失敗は、人間的成長につながりました。皆さんがこの一高で、挑戦に溢れ充実した3年間を送り、大きく成長することを心から願っています。

富山大学 医学部 医学科

佐藤寛次郎（76回生） バスケットボール部 東北学院中学校出身

私は、部活動や学習において高いレベルで充実した高校生活を送りたいと思い、一高に入学しました。しかし、一高での3年間は私が思っていたよりも、ずっと充実したものでした。一高にはいろんな個性を持った人たちがいて、その誰もが自分の「やりたいこと」に一生懸命に取り組んでいます。私は部活動のバスケットボール部では部長として活躍し、部員数が少ない中で試合に勝つために工夫を重ねました。最後の高総体では、これまでの努力をすべてぶつけることができました。また、このような仲間たちと互いに切磋琢磨し、自分をより高めていく経験が、大学受験にも大きくつながっていきました。部活や日々の学習、行事などに全力で取り組んだ非常にハードな毎日でしたが、その分だけ多くのことを学び、成長できた3年間でした。一高には、それぞれの「やりたいこと」に全力で取り組める環境があり、多種多様な仲間とともに送る高校生活は、絶対に楽しいものになるはずです。一高への入学を志す皆さん、自発的に学び、行動に移すことで、より良い一高をつくり上げていってください。

東北大学 農学部

山崎 結葉（76回生） バドミントン部 岩沼市立岩沼西中学校出身

一高合格をゴールにしてきた私は、入学してから、何のために何を頑張ったら良いのか分からない時期がありました。でも、大きな夢を持ち、なりたいものがあり、そのための通過点として一高に入ってきた人たちが周りには大勢いて、そういう人たちから刺激を受けながら、私もやりたいことを見つけることができました。一高では、OB・OG講演会や、2年次の東京研修での講演会など、幅広く活躍されている卒業生の方々のお話を聞ける機会がたくさんあります。それだけでなく、日々の授業や部活動、行事等でも、自分のやりたいことを見つけるきっかけとなる何かに出会うことは、十分可能です。迷ったときには、親身になって相談に乗ってくれる先生方や友人たちがたくさんいます。一高で過ごす3年間は本当にあつという間なので、何事にも一生懸命に、常に全力で取り組んで、いろいろなことを吸収していってください。頑張っている人を馬鹿にするような人は、一高にはいません。皆さんがこの学び舎で大きく成長できることを願っています。

令和7年度入学者選抜

募集定員 全日制 普通科320名・8クラス

学校紹介

本校は、校訓「自重献身」、標語「自発能動」のもと、自主自立の精神に充ちた、社会に貢献できるリーダーの育成を目指しています。文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、学校設定教科「学術研究」における課題研究を中心としたさまざまな取組を行っています。授業では、早期に学習スタイルを確立し、積極的に授業に臨み確かな学力を身に付けています。学校行事や部活動も盛んで、生徒が企画・運営を行っており、生徒自らの主体性を伸ばしています。確かな学力に裏打ちされた健全な批判力で、社会における諸問題を解決しようとする意識を身に付けています。他者を尊重し、自らも伸び伸びと活躍できる活気のある学校です。

求める生徒像

社会に貢献できるリーダーを目指し、高校生活のあらゆる場面で自己の可能性を追求しながら、積極的に他者と関わっていかうとする、次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 極めて優秀な学力を有し、学問の本質を探究する意欲にあふれた生徒
- 2 課題の解決やその取組の発信に積極的で、よりよい社会の構築にむけて理想を実現しようとする高い志を有する生徒
- 3 幅広い知識、または優れた技能を有し、主体的な学習者として、継続的に日々努力できる生徒
- 4 部活動、特別活動、校外活動等で中心的な役割を担い、または優れた能力や顕著な実績がある生徒

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序

共通選抜 → 特色選抜

共通選抜	288名(募集定員の90%)
学力検査：調査書	7 : 3
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は7：3とする。	
*調査書点：「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」	

特色選抜	32名(募集定員の10%)
上記「求める生徒像」の3及び4のいずれかに当てはまる生徒を重視します。	
I 配点	
1 調査書	195点
・国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする	
・音楽、美術、保健体育、技術家庭…全学年の評定を2.0倍にする	
2 学力検査	500点
・国語、数学、社会、英語、理科……得点を1.0倍にする	
合計 695点	
II 選抜方法	
・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する32名の200%の範囲に含まれる者(64名)を対象として行う。	
・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。	

第二次募集（選抜方法等）

I 配点	1 調査書	195点
	・国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする	
	・音楽、美術、保健体育、技術家庭…全学年の評定を2.0倍にする	
	2 学力検査	300点
	・国語、数学、英語(各教科100点満点)	
	3 面接	55点
	合計 550点	
II 選抜方法	上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文

I 面接	1 形態	個人面接
	2 時間	15分程度
	3 内容	(1) 志望動機
		(2) 中学校での活動状況
		(3) 将来の進路志望
		(4) 口頭試問
	4 観点	(1) 態度 15点
		(2) 表現力 15点
		(3) 理解力 25点

令和6年度

在校生の出身中学校(県内分)

(**仙台市**)第一、第二、三条、上杉山、五城、五橋、台原、北仙台、中山、広瀬、大沢、桜丘、吉成、折立、南吉成、東華、宮城野、岩切、高砂、東仙台、中野、幸町、西山、田子、八軒、南小泉、六郷、七郷、蒲町、沖野、愛宕、長町、中田、西多賀、郡山、八木山、山田、秋保、袋原、人來田、富沢、茂庭台、柳生、鶴谷、七北田、八乙女、将監、南光台、向陽台、加茂、将監東、鶴が丘、寺岡、南光台東、長命ヶ丘、南中山、高森、松陵、館、錦ヶ丘、仙台二華、仙台青陵、宮城教育大学附属、東北学院、仙台白百合学園、聖ウルスラ学院英智(**白石市**)白石、東(**刈田郡**)遠刈田(**柴田郡**)大河原、金ヶ瀬、槻木、船岡、船迫、(**角田市**)角田、金津、北角田(**伊具郡**)丸森(**塩竈市**)第一、第二、玉川(**宮城郡**)利府、しらかし台、利府西、松島、七ヶ浜、(**多賀城市**)多賀城、第二、高崎、東豊(**名取市**)第一、第二、増田、みどり台、閑上(**岩沼市**)岩沼、玉浦、岩沼北、岩沼西(**亶理郡**)亶理、荒浜、逢隈、山元(**黒川郡**)宮床、大郷、大和(**富谷市**)富谷、第二、東向陽台、日吉台、成田(**大崎市**)松山、鹿島台、古川東、古川黎明、古川南、田尻、古川学園(**遠田郡**)涌谷、不動堂、小牛田(**登米市**)佐沼、中田、新田、豊里(**栗原市**)築館、若柳、栗原西(**石巻市**)石巻、住吉、蛇田、河南東、山下、牡鹿(**東松島市**)矢本第一、矢本第二、鳴瀬未來(**気仙沼市**)津谷、松岩





校歌

大槻文彦 作詞
岩城 寛 作曲

青葉の山の深緑
すがすがしきを心に
身をし重んじつつましく
矩をば踰えずまもるべし

広瀬の川の一筋に
我が私をうちすてて
赤き真心捧げもち
御国の為につくすべし

(明治四十一年制定)

応援歌 一番

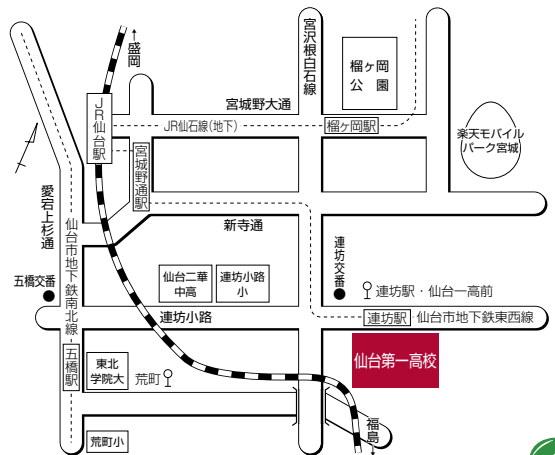
山も怒れば万丈の
煙を吐いて天を衝く
ゆるけき水も激しては
千丈の堤破るらむ
見よ男性の意気高く
堂々と勝つ一高軍

銀鞍軽く凜然と
白馬にまたがる我が選手
日頃きたえし渾身の
技量に飾る晴れ戦
綽々既に敵を呑み
一瞬蹴破る目指す陣



交通案内

- 地下鉄 東西線 連坊駅より徒歩 1 分
南北線 五橋駅から徒歩 15 分
- J R 仙台駅東口より徒歩 25 分
榴ヶ岡駅より徒歩 15 分
- バス 仙台駅西口バスプール 5 番乗り場
320 系統・薬師堂駅行
連坊駅・仙台一高前下車徒歩 2 分



宮城県仙台第一高等学校

〒984-8561 仙台市若林区元茶畑4
TEL:022 (257) 4501 FAX:022 (257) 4503
<https://sendai1.myswan.ed.jp/>

